

石川病薬 ニュース

石川県病院薬剤師会会報

令和5年(2023)/7.31 発行 No. **183**

CONTENTS

- ・巻頭言
- ・第73回 石川県病院薬剤師会定例総会
- ・学位取得者紹介
- ・学術研修会
- ・エキスパートに聞く!～輝く石川のキラ星～
- ・委員会報告
- ・となりの薬・薬連携物語
- ・他都道府県病薬会誌寄贈一覧
- ・南船北馬
- ・寄稿



〔巻頭言〕

会長就任にあたってのご挨拶 石川県済生会金沢病院 森戸 敏志…… 1
〔第73回 石川県病院薬剤師会定例総会〕 …………… 3

〔学位取得者紹介〕

日本人非小細胞肺癌患者におけるチロシンキナーゼ
阻害薬誘発性肝毒性に影響する因子の検討：2施設共同後方視的観察研究
金沢医科大学病院 長井 宏文……23

〔学術研修会〕

令和4年度第1回（通算第172回）学術研修会 金沢医科大学病院 今川 静代……25

発表者報告

大学病院と地域病院の連携による退院時薬剤情報提供と薬局アンケート評価
金沢大学附属病院 堀 祐貴、他……26
加賀市医療センターにおけるAST活動の検証 加賀市医療センター 橋爪 卓巳、他……28
ジスチグミン臭化物に起因したコリン作動性クラーゼの一症例
城北病院 飯室 千春、他……30
薬剤師の医療安全対策への関わり 石川県立中央病院 田中健太郎、他……32
エルデカルシトール供給不足への対応と課題～薬薬連携を通して考える～
金沢市立病院 中西 知央、他……34
疑義照会プロトコール導入前後の業務負担の変化
金沢医科大学病院 真館 育子、他……36
当院における医薬品使用期限管理の取り組み
公立松任石川中央病院 西村麻友子、他……38

〔エキスパートに聞く！～輝く石川のキラ星～（25）〕

日本薬剤師研修センター 小児薬物療法認定薬剤師
国立病院機構医王病院 矢野 涼子……40

〔委員会報告〕

感染制御委員会
第23回 石川県感染制御セミナー開催報告 公立松任石川中央病院 三田麻友子……43
中小病院委員会
第35回 中小病院薬剤師研修会に参加して 金沢赤十字病院 立花 誉司……52
がん治療委員会
第40回 がん薬物療法セミナー開催報告 金沢大学附属病院 堀 祐貴……54

〔となりの薬・薬連携物語〕

石川県立中央病院 多賀 志乃……55

〔他都道府県病薬会誌寄贈一覧〕 ……………56

〔南船北馬〕 ……………57

〔寄稿〕「古寺との結縁-60」 酬恩庵・般若寺・円成寺 ～南山城地域の思い出めぐり旅（前）～
院瀬見義弘……58

〔編集後記〕

〔病薬ニュース発行欄〕

表紙写真 撮影
：熊走 尚志

北部公園の蓮

蓮の根がレンコンに、蓮の花と蓮根は同植物です。
蓮が仏教では極楽の花といわれています。
裏表紙は金沢城公園の三十間長屋へ渡る極楽橋の下の道、いもり坂の頂上近くの小道。

巻頭言

会長就任にあたってのご挨拶

石川県病院薬剤師会 会長 森戸敏志
石川県済生会金沢病院 薬剤部長

石川県病院薬剤師会会員の皆様、令和5年5月の第73回定例総会にて、会長に就任しました石川県済生会金沢病院の森戸です。本紙面をお借りしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

会長就任にあたり、あらためて石川県病院薬剤師会のあゆみを振り返るべく、「創立50周年記念誌（石川病薬ニュース103号）」（平成14年／1月発行）を読みかえました。石川県病院薬剤師会は、今から72年前の1951年11月の第1回総会において設立されました。日本病院薬剤師会の前身である日本病院薬剤師協会が1955年設立と記録されていますので、石川県病院薬剤師会は4年も早く設立されていたことになります。そして、現在でも開催されている学術研修会は、設立の翌年である1952年に第1回が開催され、現在までに通算172回の研修会が行われています。その中には「三者合同例会」のように、製薬企業、医薬品卸、病院薬剤師の三者が席を並べて、知識と懇親を深める全国的にも例が少ない合同研修会も開催されてきました。石川県病院薬剤師会のあゆみを振り返ることで、設立当初からの学術分野にかける情熱や職能団体間の連携にかける思いを感じ取ることができました。

2020年1月に国内最初の新型コロナウイルス感染症患者が確認されてから3年余り、未知の感染性疾患の脅威にさらされることで、我々を取り巻く生活が一変しました。この期間、病院薬剤師会としても様々な事業が制限され、崔吉道前会長をはじめ執行部の皆様には非常に難しい舵取りを迫られたことと推察いたします。その状況下、全国的にも、極めて早期にweb会議サービスを活用した研修会を取り入れて、県下会員の自己研鑽の体制を確立したことや、様々な助成制度を臨時的に取り入れて会員の福利厚生をはかるなど、様々な事業を実現されてきたことに、感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

コロナワクチンの普及や治療薬の登場、国内の感染状況の沈静化により、令和5年5月8日を以て、新型コロナウイルス感染症の分類が5類に変更となりました。少しずつではありますが、社会生活もさまざまな所で、コロナ前の状態に戻つつあります。今後は、これまで制限されていた石川県病院薬剤師会の研修会やイベントなども、状況を確認しながら感染対策を講じた上での対面開催も計画して参ります。一方、webを活用した会議や研修会などは、南北に長い石川県に在籍する会員にとって、距離的及び時間的な制約を少なくする優れたツールだと思います。そこで、今後の事業開催にあたり、各事業の趣旨を勘案して、対面開催、web開催及びハイブリット開催などの方法を検討し、参加者のニーズに応えられるように事業を再構築したいと考えています。石川県病院薬剤師会の全会員が関心を持って、各事業にご参加いただけることを願っています。

今年度秋には、日本病院薬剤師会・北陸ブロック学術大会が開催予定です。今回は、石川県病院薬剤師会が幹事担当として、準備を進めて参ります。あらためて開催案内や演題募集をお知らせいたします

ので、奮ってご参加下さい。

2024年春には、診療報酬が改定（介護、障害福祉サービス等報酬との同時改定）され、第8次医療計画や、医師の働き方改革が実施されます。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大下で足踏み状態だった、地域医療構想の今後の行方も気になります。地域包括ケアシステムの中で病院同士や病院と保険薬局がシームレスに連携し、患者の療養する環境に合わせて情報連携できることが望ましいと考えます。会員の皆様からご意見をいただき、これら様々な課題に取り組んでいきます。是非ともご意見などをお寄せいただけますようお願いいたします。

最後になりますが、令和5年5月5日に珠洲を震源とした大規模な地震がありました。この原稿を作成している5月下旬においても、散発的に地震が観測されており、不安な日々を過ごされている方もいらっしゃるかと推察いたします。一日も早く、安心して生活できる日が来ることを願っております。

